

工 業 用 水 道 事 業 会 計
平成27年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出
収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1工業用水道事業収益			千円 981,486	千円 -	千円 981,486	
	1営業収益		691,317	△29,606	661,711	
		3営業雑収益	58,416	△29,606	28,810	
	2営業外収益		290,169	29,606	319,775	
		4雑収益	17,873	29,606	47,479	
支 出						
款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1工業用水道事業費用			千円 958,072	千円 12,485	千円 970,557	
	1営業費用		689,755	12,485	702,240	
		3管理センター費	148,556	△3,992	144,564	給料 手当 法定福利費 △660 △3,001 △331
		5一般管理費	103,605	16,477	120,082	給料 手当 退職給付費 法定福利費 △7,212 △5,019 31,250 △2,542

平成27年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	29,575
減価償却費	180,243
退職給付引当金の増加	31,251
賞与引当金の増加	913
その他の引当金の増加	8
長期前受金戻入額	△53,426
受取利息及び受取配当金	△2,870
支払利息	1,000
未収金の減少	220
貯蔵品の増加	△92
未払金の減少	△44,513
雑流動負債の増加	27
小計	142,336
利息及び受取配当金	2,870
利息の支払額	△1,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	144,206

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△208,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,852

資 金 減 少 額
資 金 期 首 殘 高
資 金 期 末 殘 高

△64,646

2,924,571

2,859,925

平成27年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(平成28年3月31日)

千円

千円

千円

千円

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

9,717,003

減 価 償 却 累 計 額

△6,037,066

有 形 固 定 資 産 合 計

3,679,937

(2) 無 形 固 定 資 産

無 形 固 定 資 産 合 計

1,202

(3) 投 資 そ の 他 の 資 産

長 期 貸 付 金

1,500,000

固 定 資 産 合 計

5,181,139

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

2,859,925

(2) 未 収 金

60,000

(3) 貯 蔵 品

2,471

流 動 資 産 合 計

2,922,396

資 産 合 計

8,103,535

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 引 当 金

180,459

固 定 負 債 合 計

180,459

4	流	動	負	債				
(1)	未		払	金		131,000		
(2)	引		当	金		12,885		
(3)	雑	流	動	負	債			
						<u>600</u>		
	流	動	負	債	合		144,485	
5	繰	延	収	益				
(1)	長	期	前	受	金	2,411,597		
	長	期	前	受	金	収	益	化
					累	計	額	
						<u>△1,635,883</u>		
	繰	延	収	益	合		<u>775,714</u>	
	負	債	合	計			<u><u>1,100,658</u></u>	

資 本 の 部

6	資	本	金				
(1)	資	本	金				
	イ	固	有	資	本	金	163,544
	ロ	組	入	資	本	金	<u>4,539,756</u>
		資	本	金	合	計	4,703,300
							4,703,300
7	剰	余	金				
(1)	資	本	剰	余	金		
	イ	受	贈	財	産	評	価
						額	147,572
	ロ	国	庫	補	助	金	54,445
	ハ	そ	の	他	資	本	剰
					余	金	<u>157,842</u>
		資	本	剰	余	金	合
					計		359,859
(2)	利	益	剰	余	金		

イ 利益積立金	116,000		
ロ 建設改良積立金	1,794,143		
ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>29,575</u>		
利益剰余金合計		<u>1,939,718</u>	
剰余金合計			<u>2,299,577</u>
資本金合計			<u>7,002,877</u>
負債資本合計			<u>8,103,535</u>

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 10～60年

機械及び装置 2～22年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

1 重要な非資金取引

(1) 無償譲与による資産の取得

当年度の無償譲与による資産の取得額は、795千円である。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,421,736	4,270,043	2,411,756	8,103,535
セグメント負債	145,123	546,995	408,540	1,100,658
その他の項目				

有形固定資産及び無形固定資産の増加額	37,473	73,035	166,059	276,567
--------------------	--------	--------	---------	---------

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。